

講義コード	1101401600	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学 I A(N)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	看護学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	講師/杉山 芳生/理学療法学科				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401600	講義名	情報科学 I A(N)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)
定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。
授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401601	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学 I B(N)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	看護学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	講師/杉山 芳生/理学療法学科				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401601	講義名	情報科学 I B(N)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)
定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。
授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401602	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学 I A(P)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	理学療法学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	非常勤/村瀬 智一/非常勤(学部)				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は

講義コード	1101401602	講義名	情報科学 I A(P)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401603	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学ⅠB(P)			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	理学療法学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	非常勤/村瀬 智一/非常勤(学部)				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は

講義コード	1101401603	講義名	情報科学 I B(P)
-------	------------	-----	-------------

印刷日:2025/04/28

次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)

定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。

授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401604	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	情報科学Ⅰ（O）			開講時期	前期
基準単位数	2			開講時限	30
科目No	BA1a131			対象学生	作業療法学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)				
担当教員	講師/杉山 芳生/理学療法学科				

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Wordによる文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Wordによる文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401604	講義名	情報科学 I (O)
-------	------------	-----	------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)
定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。
授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101401605	開講年度	2024	講義区分	講義	
講義名	情報科学 I (M)			開講時期	前期	
基準単位数	2			開講時限	30	
科目No	BA1a131			対象学生	臨床工学科(1年次)	
必修/選択	必修					
担当教員	非常勤/◎ 吉岡 綾子/非常勤(学部)					
担当教員	非常勤/村瀬 智一/非常勤(学部)					

科目の概要

この科目は、主に学部のディプロマポリシーにおける【知識】の「科学技術に関する基本的な教養の習得」、【技能】の「知識、技術、情報を活用、発信する実践力の体得」に対応するものである。特に、1年後期に開講される「情報科学Ⅱ」が【技能】の習得に重きを置く一方、この科目では情報科学に関する基礎的な【知識】の習得に主眼をおいている。

医療の情報化が進み、医療従事者にはコンピュータを使いこなすことが求められている。また、大学におけるレポートの作成や論文執筆、研究発表等にもコンピュータに関する知識や技能が必要となる。本科目では、コースの前半に、コンピュータや情報処理および情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な内容を取り扱う。その後、実際にコンピュータを使いながらMicrosoft Officeの操作方法を学び、Word による文書作成、PowerPointによるプレゼンテーション、Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理ができるようになることを目指す。

学習到達目標

【知識】

- ① コンピュータや情報処理に関する基礎的な知識を習得する。
- ② 情報倫理・情報セキュリティに関する基礎的な知識を習得する。
- ③ Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解する。

【技能】

- ④ コンピュータの使用に必要なタイピング入力を正確に行うことができる。
- ⑤ Word による文書を作成する。
- ⑥ PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成をする。
- ⑦ Excelを使ったグラフ作成や基礎的な情報処理をする。

授業の内容

1. ガイダンス コンピュータを使用する際の注意事項等(全員)
2. コンピュータと情報(全員)
3. 情報倫理と情報セキュリティ(全員)
4. Wordの基礎1 文字入力(全員)
5. Wordの基礎2 文章や表の作成(全員)
6. Wordの基礎3 図などの作成(全員)
7. PowerPointの基礎1 図形の描画(全員)
8. PowerPointの基礎2 プレゼンテーション(全員)
9. Excelの基礎1 文字や数値の入力(全員)
10. Excelの基礎2 様々な計算、表の編集(全員)
11. Excelの基礎3 グラフや図形の作成(全員)
12. Excelの応用1 度数分布とヒストグラム(全員)
13. Excelの応用2 基礎統計量(全員)
14. Excelの応用3 散布図、相関係数(全員)
15. まとめ 講義内容や操作方法の復習(全員)

授業方法

【対面授業】

基本的に、用意した資料をもとに教員が解説し、各自で実際にコンピュータを操作しながら課題に取り組み、授業終了時又は次回の授業開始時に課題を提出する演習形式で授業を進めていく。1～3回までは、コンピュータや情報倫理などに関する基本的

講義コード	1101401605	講義名	情報科学 I (M)
-------	------------	-----	------------

印刷日:2025/04/28

な知識について、それ以降は Microsoft Officeの各ソフトに関する基礎的な操作方法や情報処理について取り扱う。また、授業の進行状況に合わせ、コースの前半・中盤・後半にタイピング記録会を実施し、その得点を記録していく。

事前・事後学習

毎回の配布資料に基づいて授業内容の復習を行うこと。特に、4回目以降は以前の授業で扱った内容に基づいて授業が進んでいくため、前回の授業で扱った操作方法や課題の内容について、配布資料をもとに1時間程度復習しておくこと。また、タイピング記録会での得点を上げられるように、可能な限り授業外でもタイピングの練習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験(70%)、授業中の課題(30%)
定期試験は、主に学習到達目標の①～③に対応しており、コンピュータや情報倫理等に関する知識を習得しているか、Microsoft Officeの基本的な操作方法を理解しているかを評価する。
授業中の課題は、主に学習到達目標の④～⑦に対応しており、コンピュータの使用に必要なタイピング入力がどの程度できているかをタイピング記録会の得点で評価するとともに、Word やPowerPoint、Excelを用いて実際に課題を完成させることができるかを各回の課題に基づいて評価する。それらの学習の到達状況については、授業中に適宜フィードバックを行う。

教科書

なし、適宜資料を配布。

参考書

松木秀明、上野真由美「医療系のための基礎情報科学」東京図書

アクティブラーニング

1.実施している

教育リソース

1.使用する

IPAの動画を復習用に適宜用いることがある。

<https://www.youtube.com/@ipajp/videos>

講義コード	1101391600	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	統計学Ⅰ(N)			開講時期	前期
基準単位数	1			開講時限	30
科目No	BA1a130			対象学生	看護学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	助教/◎ 竹本 圭佑/看護学科				

科目の概要

本授業は、本学のディプロマ・ポリシーの「知識」「技能」に対応し、自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につけることを目標とするものである。

統計学は、量的なデータを用いて研究する際、非常に強力なツールとなる。そのような研究を自分で実施する上でも先行研究として読み解き検討する上でも、統計学に関するある程度の知識と理解が必要になる。この授業では統計学を量的研究のツールとして位置づける。

量的研究の一連の流れを意識しながら、ある問題を解決するために有用だと考えられる情報を得るためのデータの収集法・解析法に関する統計学の知識やスキルを取り扱う。それにより、統計学の入り口を開け、自身の問題意識を統計学を用いて探究する際に必要な素地を形成することを目指す。

学習到達目標

自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につける。量的研究を実施する際に必要となる基本的な統計学的知識・スキルを習得すること、それらを自身の探究に活用できるように統合的に理解することが最終的な目標である。

具体的には、①量的研究に関連する統計学の知識や考え方を習得すること、②それらを活かして自他の量的研究に対して批判的に検討し、適切な判断ができるようになること、を目標とする。

授業の内容

01_オリエンテーション・データと変数
02_代表値とばらつき
03_共分散と相関係数
04_相関と因果
05_確率論の基礎
06_母集団と標本
07_統計的推定
08_演習
09_統計的仮説検定
10_独立性の検定
11_対応のないt検定
12_対応のあるt検定
13_分散分析
14_相関と回帰
15_単回帰分析

授業方法

教科書と配布する資料を教材として、講義と課題演習で対面授業を行う。

毎回responで出席を確認するので、各自でログインできる環境を整えておくこと。

事前・事後学習

教科書や配布したレジュメを用いて毎回30分程度の復習を行い、演習課題に取り組むこと。

成績評価の方法

演習課題(30%)
定期試験(70%)
但し、社会情勢等を鑑みて変更する可能性がある。

教科書

講義コード	1101391600	講義名	統計学 I (N)
-------	------------	-----	-----------

印刷日:2025/05/06

教科書 金子治平・上藤一郎(編)「よくわかる統計学 I 基礎編[第2版]」ミネルヴァ書房 ISBN-13:978-4623061112	
連絡先	
k-takemoto{@jaino.ac.jp ({@}は@に置き換えてください)	
オフィスアワー	
授業内で指示する。	
アクティブラーニング	
0. 実施していない	
教育リソース	
0. 使用しない	

講義コード	1101391601	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	統計学Ⅰ(P)			開講時期	前期
基準単位数	1			開講時限	30
科目No	BA1a130			対象学生	理学療法学科(2年次)
必修/選択	必修				
担当教員	助教/◎ 竹本 圭佑/看護学科				

科目の概要

本授業は、本学のディプロマ・ポリシーの「知識」「技能」に対応し、自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につけることを目標とするものである。

統計学は、量的なデータを用いて研究する際、非常に強力なツールとなる。そのような研究を自分で実施する上でも先行研究として読み解き検討する上でも、統計学に関するある程度の知識と理解が必要になる。この授業では統計学を量的研究のツールとして位置づける。

量的研究の一連の流れを意識しながら、ある問題を解決するために有用だと考えられる情報を得るためのデータの収集法・解析法に関する統計学の知識やスキルを取り扱う。それにより、統計学の入り口を開け、自身の問題意識を統計学を用いて探究する際に必要な素地を形成することを目指す。

学習到達目標

自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につける。量的研究を実施する際に必要となる基本的な統計学的知識・スキルを習得すること、それらを自身の探究に活用できるように統合的に理解することが最終的な目標である。

具体的には、①量的研究に関連する統計学の知識や考え方を習得すること、②それらを活かして自他の量的研究に対して批判的に検討し、適切な判断ができるようになること、を目標とする。

授業の内容

01_オリエンテーション・データと変数
02_代表値とばらつき
03_共分散と相関係数
04_相関と因果
05_確率論の基礎
06_母集団と標本
07_統計的推定
08_演習
09_統計的仮説検定
10_独立性の検定
11_対応のないt検定
12_対応のあるt検定
13_分散分析
14_相関と回帰
15_単回帰分析

授業方法

教科書と配布する資料を教材として、講義と課題演習で対面授業を行う。

毎回responで出席を確認するので、各自でログインできる環境を整えておくこと。

事前・事後学習

教科書や配布したレジュメを用いて毎回30分程度の復習を行い、演習課題に取り組むこと。

成績評価の方法

演習課題(30%)
定期試験(70%)
但し、社会情勢等を鑑みて変更する可能性がある。

教科書

講義コード	1101391601	講義名	統計学 I (P)
-------	------------	-----	-----------

印刷日:2025/05/06

教科書 金子治平・上藤一郎(編)「よくわかる統計学 I 基礎編[第2版]」ミネルヴァ書房 ISBN-13:978-4623061112

連絡先

k-takemoto{@jaino.ac.jp ({@}は@に置き換えてください)

オフィスアワー

授業内で指示する。

アクティブラーニング

0. 実施していない

教育リソース

0. 使用しない

講義コード	1101391602	開講年度	2024	講義区分	講義
講義名	統計学Ⅰ(OM)			開講時期	前期
基準単位数	1			開講時限	30
科目No	BA1a230,BA1a130			対象学生	作業療法学科(2年次),臨床工学科(1年次)
必修/選択	必修				
担当教員	助教/◎ 竹本 圭佑/看護学科				

科目の概要

本授業は、本学のディプロマ・ポリシーの「知識」「技能」に対応し、自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につけることを目標とするものである。

統計学は、量的なデータを用いて研究する際、非常に強力なツールとなる。そのような研究を自分で実施する上でも先行研究として読み解き検討する上でも、統計学に関するある程度の知識と理解が必要になる。この授業では統計学を量的研究のツールとして位置づける。

量的研究の一連の流れを意識しながら、ある問題を解決するために有用だと考えられる情報を得るためのデータの収集法・解析法に関する統計学の知識やスキルを取り扱う。それにより、統計学の入り口を開け、自身の問題意識を統計学を用いて探究する際に必要な素地を形成することを目指す。

学習到達目標

自身の問題意識を統計学的手法を用いて探究するために基盤となる資質・能力を身につける。量的研究を実施する際に必要となる基本的な統計学的知識・スキルを習得すること、それらを自身の探究に活用できるように統合的に理解することが最終的な目標である。

具体的には、①量的研究に関連する統計学の知識や考え方を習得すること、②それらを活かして自他の量的研究に対して批判的に検討し、適切な判断ができるようになること、を目標とする。

授業の内容

01_オリエンテーション・データと変数
02_代表値とばらつき
03_共分散と相関係数
04_相関と因果
05_確率論の基礎
06_母集団と標本
07_統計的推定
08_演習
09_統計的仮説検定
10_独立性の検定
11_対応のないt検定
12_対応のあるt検定
13_分散分析
14_相関と回帰
15_単回帰分析

授業方法

教科書と配布する資料を教材として、講義と課題演習で対面授業を行う。

毎回responで出席を確認するので、各自でログインできる環境を整えておくこと。

事前・事後学習

教科書や配布したレジュメを用いて毎回30分程度の復習を行い、演習課題に取り組むこと。

成績評価の方法

演習課題(30%)
定期試験(70%)
但し、社会情勢等を鑑みて変更する可能性がある。

教科書

教科書 金子治平・上藤一郎(編)「よくわかる統計学 I 基礎編[第2版]」ミネルヴァ書房 ISBN-13:978-4623061112

k-takemoto{@}aino.ac.jp ({@}は@に置き換えてください)	
オフィスアワー	
授業内で指示する。	
その他	
アクティブラーニング	
0.実施していない	
教育リソース	
0.使用しない	